



## 2学期に生かしてほしいこと 「みんなちがって みんないい」



～第2学期始業式の校長講話～

この夏休みは、今までになかった暑い日が続いた夏休みでした。あまりの暑さで、プールができないという、今まで考えもしなかったことが起こりました。

しかし、今日元気に登校してきた皆さんの姿を見ると、それぞれがいい夏休みを過ごすことができたと感じました。夏休みだからできたこと、夏休みしかできないことなど、たくさんの経験をしたことと思います。夏休みの体験を2学期の生活の中で生かしてほしいと思います。

今日は始業式ですので、2学期に皆さんに考えてほしいことをお話します。

皆さんの中には、「金子みすゞ」さんという、明治時代に山口県で生まれ、26歳の若さでこの世を去った詩人の名前を聞いたことがある人もいると思います。この人が書いた詩に「私と小鳥と鳥と」という詩があります。

私が両手をひろげても お空はちっとも飛べないが  
飛べる小鳥は私のように 地べたを速く走れない  
私が体をゆすっても きれいな音は出ないけれど  
あのなる鈴は私のように たくさんな唄は知らないよ  
鈴と小鳥とそれから私 みんなちがって みんないい



知っている人も多いと思います。

この詩のすばらしさは、人によってさまざまに感じるでしょうが、校長先生は、最後の「みんなちがって みんないい」という言葉が、とてもいいと思っています。

空を飛ぶことがすばらしくて、飛べないことがダメなことではないんです。美しい音が出せることがすばらしくて、出せないことがダメではないんです。一人ひとりがちがうと言うことは、そこにそれぞれのよさがあるということなのです。校長先生は、そう思います。

2学期は、学習発表会や陸上の大会等、いろいろな行事があります。また、勉強や読書にもふさわしい季節です。ぜひ、勉強にも運動にもすべてに渡って充実した学校生活を送ってほしいと思います。

そのために大切なことは、友だちの良さを知ることです。自分と似ている友だち、その逆な友だちなど、皆さんの周りにはたくさんの友だちがいます。いろいろな友だちのそれぞれのよさを知り、わかり合い、認め合って、1学期以上に友だちの仲を深めてほしいと思います。

「みんなちがって みんないい」

ぜひ、このことを2学期の生活に生かしてほしいと思います。

## 事務室に新しい職員が着任しました



1学期末をもって、市の事務を担当してくださっていた岡崎真里先生が退職しました。

その後を受けて、8月24日から芦口 均（あしぐち ひとし）先生が、着任されました。岡崎先生に引き続き市事務関係のお仕事をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

～芦口 均先生から一言～

8月24日付けで事務補助として勤務することとなりました。還暦（60歳）を過ぎた年齢ですが、精一杯仕事に従事しますので、よろしくお願いいたします。